

10. 令和6年度 千葉県てんかん地域診療連携体制整備事業活動報告

千葉県循環器病センター 脳神経外科 青柳 京子

まとめ

令和6年度も、千葉県循環器病センターは千葉県てんかん支援拠点病院に指定され、てんかん地域診療連携体制整備事業は5年目を迎えた。WEB研修会や市民公開講座の開催を通じた啓発活動に加え、症例検討会の参加者数・参加施設数の増加、外来患者数や手術件数の増加など、昨年度を上回る成果を上げることができた。また、東邦大学医療センター佐倉病院小児科および浅井病院精神科からの紹介症例のうち、手術に至る症例や、周術期の精神症状に関して浅井病院に診療を依頼する症例が増加し、連携体制の構築による成果が実感された1年となった。

1. 診療に関する事業

1) 診療実績

令和6年度は、脳神経外科医の異動により人員不足の状態での診療体制となり、診療実績が半減することが危惧されたが、集計時点では各指標とも今年度目標値を上回る見込みである。特に外科手術に関しては、本邦初症例を含め難治性てんかんに対する脳深部刺激療法（ANT-DBS）をこれまでに4例実施しており、治療件数も前年と比較し増加している。

2) 診療連携・患者支援に向けての取り組み

今年度は社会福祉士・精神保健福祉士の資格を持ったコーディネーターが加わり2名体制で患者相談に対応し、福祉制度活用のための案内や地域の支援者との連携を行った。昨年同様、外科治療を受ける患者の心理・社会面での支援のために外来から入院まで継続した面談を行い、外来・病棟看護師と連携しながら患者および家族の支援をおこなった。電話相談業務においては引き続き、行政や学校関係者からの相談にも対応し、受診につながる支援をした。てんかんを持つことにより心理的な負担を感じている患者・家族のために、今年度作成したメンタルヘルスに関するパンフレットを用いて心理教育を行っている。昨年同様顔の見える関係の構築を目的とし、コーディネーターが地域のソーシャルワーカーの連絡協議会に積極的に参加した。

3) 多職種・多施設によるてんかん症例検討会開催

平成30年のてんかんセンター設置以来、院内の多職種（脳神経外科医・精神科医・脳神経内科医・看護師（看護局・病棟・外来・手術室）・薬剤師・栄養士・社会福祉士・言語聴覚士・理学療法士・放射線技師・臨床検査技師・事務局）による症例検討会を開催し、診断・治療のみならず、家族背景への配慮や社会福祉資源の活用も含めた検討を重ねてきた。令和2年度よりZoomを用いたオンラインカンファレンスを導入し、多くの施設の多職種の参加者にご参加いただき、各症例についてより活発な議論がなされた。（現在 院内 27名、院外 39名が参加登録）

表1 症例検討会参加者

施設名	医師（診療科）	コメディカル
千葉県循環器病センター	脳神経外科、脳神経内科、精神科	看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、放射線技師、社会福祉士、公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、事務
浅井病院	精神科	社会福祉士、精神保健福祉士、臨床検査技師、看護師
東邦大学医療センター佐倉病院	小児科、精神科	
千葉大学医学部附属病院	小児科、脳神経外科	臨床検査技師
行徳総合病院	脳神経外科	言語聴覚士、公認心理師、薬剤師、臨床検査技師
国際医療福祉大学成田病院	脳神経内科、精神科	
亀田クリニック	精神科	
セコメディック病院	脳神経外科	
高根病院		臨床検査技師
千葉県こども病院	小児科	

成田赤十字病院	脳神経外科	
産業医科大学	脳神経外科	

4) 外来医師派遣・オンライン診療導入

てんかんは有病率の高い疾患であるにもかかわらず専門医療へのアクセスが困難であることが課題となっている。一般の脳外科医・神経内科医・精神科医で診断・治療に難渋する症例は当院への紹介を勧めているが、当院の交通アクセスが不良であることから患者が受診を希望しないという現状もある。このため、千葉大学医学部附属病院にててんかん専門外来を開設している。同様に遠方からの通院患者に対しオンライン診療を用いて頻繁に外来受診を行うことで、服薬コンプライアンスの向上と適切な薬剤コントロールを図るべく、令和3年4月よりオンライン診療システムを導入した。今後、遠隔連携診療料の対象となる医療機関同士の連携体制の構築も計画している。

2. 教育・啓発活動に関する事業

1) ホームページ開設

令和2年4月に病院ホームページ内に脳神経外科から独立しててんかんセンターのホームページを開設し、てんかんセンター、てんかんの診断や治療についての情報を掲載した。下記3)のパンフレットのPDF掲載や研修会案内を適宜アップロードしたところ、アクセス数が増加した。また、患者・患者家族が自身でホームページの情報を検索し、専門診療問い合わせや新規外来紹介受診につながる例も多数みられ、外来患者数の増加に寄与した。

2) 研修会・公開講座開催

今年度4回の研修のうち10月および2月開催の市民公開講座は現地開催とWEB開催のハイブリッド開催とした。第1回市民公開講座は、千葉県循環器病センターでの現地開催し「こどもとてんかん」をテーマとした。現地・オンライン合わせて137名にご参加いただき、現地で専門の医療関係者から直に話を聞けることについて高い評価を得た。また、令和7年2月15日の第2回市民公開講座は「てんかんとともに生活するために」をテーマとして千葉パリエホールでの開催し、現地・オンライン合わせて139名にご参加いただき、活発な質疑応答が行われた。またWEB研修会は、第1回は医療関係者を対象としメンタルヘルスについて、第2回は教育・福祉関係者を対象に発作時対応をテーマとして取り上げた。来年度以降、継続して同様の企画を継続する予定である。

表2 R5年度研修会・公開講座開催実績

研修区分	日付	テーマ	参加人数
医療関係者向け研修会	令和6年7月27日	なんとかなる?なんとかしよう! てんかんプライマリケア<ステップ4>みんなで知ろう、てんかん医療に役立つメンタルケアの基本~精神科以外の支援者のためのコツ~	27
市民公開講座	令和6年10月5日	てんかんを知ろう!その3: こどもとてんかん	137
教育・福祉関係者向け研修会	令和6年12月14日	なんとかなる?なんとかしよう! てんかんプライマリケア<ステップ5>みんなで知ろう、てんかん発作への対応	62
市民公開講座	令和7年2月15日	てんかんを知ろう!その4: てんかんとともに生活するために	139

令和6年度千葉県てんかん支援拠点病院 WEB研修会

なんとかなる？なんとかしよう！
てんかんブライマリアグ<ステップ4>
みんなで知ろう。てんかん医療に役立つメンタルケアの基本
～精神科以外の支援者のためのコツ～

令和6年7月27日(土) 14:30～16:00
Zoomオンライン開催
参加費無料 参加費無料 ツツア記念会

総合司会 原 広一郎 浅井病院 精神科
副会 原 広一郎 千葉県立精神センター てんかんセンター

第1部 てんかんのメンタルヘルス対応で困ること
～精神科以外の立場から～
講師 堀二 千葉県立精神センター 精神科
ところについて考える ～心理士の立場から～
講師 神子 水戸市立 臨床心理士 認知症・発達障害・心療内科

第2部 “そんなことくらいわかってる”という落とし穴
～専門職以外の医療的対応の落とし穴～
副会 原 広一郎 浅井病院 精神科

質疑応答
司会 金村 英秋 茨城大学医学部センター-脳神経科 小児科
原 広一郎 浅井病院 精神科

参加方法
千葉県立精神センター てんかんセンター ホームページから登録ください。
資料の配布、PDFダウンロードは予定していません。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenkyukai/kenkan/kenkanseminar.html>

申し込み締切日：令和6年7月26日
お問い合わせ先：千葉県立精神センター-脳神経科 原 広一郎 原 広一郎
TEL: 0436-866-3111 FAX: 0436-866-3032

令和6年度千葉県てんかん支援拠点病院 市民公開講座

**てんかんを知ろう！その3
子どもとてんかん**

令和6年10月5日(土) 14:00～15:45
Zoomオンライン開催
参加費無料 参加費無料 ツツア記念会
※当日参加申し込みはお受けできません(ご了承ください)

総合司会 原 広一郎 浅井病院 精神科
副会 堀二 千葉県立精神センター てんかんセンター

イントロクワン
司会 神子 千葉県立精神センター てんかんセンター
子どもとてんかんの福祉<ア>
山口 真由 茨城大学医学部センター-脳神経科 小児科 発達障害 主任医師
てんかんと家族の課題 ～心理士の支援を求めて～
副会 神子 千葉県立精神センター てんかんセンターコーディネーター

特別講演
原 広一郎 浅井病院 精神科
てんかんのある子どもの生活について
～発作・薬・気をつけること～
司会 植原 悠太 茨城大学医学部センター-脳神経科 小児科
原 広一郎 浅井病院 精神科

質疑応答
司会 金村 英秋 茨城大学医学部センター-脳神経科 小児科
原 広一郎 浅井病院 精神科

参加方法
千葉県立精神センター てんかんセンター ホームページから登録ください。
資料の配布、PDFダウンロードは予定していません。
※千葉県立精神センター てんかんセンター ホームページから登録可能です。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenkyukai/kenkan/kenkanseminar.html>

申し込み期間：令和6年9月1日～10月4日
お問い合わせ先：千葉県立精神センター-脳神経科 原 広一郎 原 広一郎
TEL: 0436-866-3111 FAX: 0436-866-3032

令和6年度千葉県てんかん支援拠点病院 WEB研修会

なんとかなる？なんとかしよう！
てんかんブライマリアグ<ステップ5>
みんなで知ろう。てんかん発作への対応

令和6年12月14日(土) 14:00～15:35
Zoomオンライン開催
参加費無料 参加費無料 ツツア記念会

総合司会 原 広一郎 浅井病院 精神科
副会 堀二 千葉県立精神センター てんかんセンター

第1部 てんかんとどのような病気か
原 広一郎 浅井病院 精神科
てんかん発作を起こした方へのケア
川崎 純乃 千葉県立精神センター てんかんセンター

第2部 こんなときどうする？
～どんな時は心配？どんな時は静観？～
副会 植原 悠太 茨城大学医学部センター-脳神経科 小児科
原 広一郎 浅井病院 精神科

第3部 指定発作 子どもとてんかんの特徴
金村 英秋 茨城大学医学部センター-脳神経科 小児科

質疑応答
原 広一郎 浅井病院 精神科
原 広一郎 浅井病院 精神科

申し込み期間：令和6年12月19日
お問い合わせ先：千葉県立精神センター-脳神経科 原 広一郎 原 広一郎
TEL: 0436-866-3111 FAX: 0436-866-3032

令和6年度千葉県てんかん支援拠点病院 市民公開講座

**てんかんを知ろう！その4
てんかんとともに生活するために**

令和7年2月15日(土) 14:00～15:40
Zoomオンライン開催
参加費無料 参加費無料 ツツア記念会
※当日参加申し込みはお受けできません(ご了承ください)

総合司会 堀二 千葉県立精神センター てんかんセンター
副会 原 広一郎 浅井病院 精神科

てんかんとどんな病気？
副会 堀二 千葉県立精神センター てんかんセンター 精神科
てんかんの福祉制度：利用できるものは？
講師 原 広一郎 浅井病院 精神科
仕事を続ける支援：フレックスタイムなどについて
副会 原 広一郎 浅井病院 精神科

子どもとてんかんの特徴 ～理解と支援に向けて～
金村 英秋 茨城大学医学部センター-脳神経科 小児科

質疑応答
司会 原 広一郎 浅井病院 精神科
金村 英秋 茨城大学医学部センター-脳神経科 小児科

参加方法
千葉県立精神センター てんかんセンター ホームページから登録ください。
資料の配布、PDFダウンロードは予定していません。
※千葉県立精神センター てんかんセンター ホームページから登録可能です。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenkyukai/kenkan/kenkanseminar.html>

申し込み期間：令和7年1月1日～2月14日
お問い合わせ先：千葉県立精神センター-脳神経科 原 広一郎 原 広一郎
TEL: 0436-866-3111 FAX: 0436-866-3032

3) パンフレットの作成・配布

令和2年度に作成した外来患者向けパンフレット「てんかんと診断された方へ」「てんかんの外科治療について」「災害への備え」を外来に設置するほか、ホームページからPDFとしてダウンロードできる形で公開している。今年度、「てんかんとメンタルヘルスについて」のパンフレットを作成し、ホームページへのアップロード及び外來設置を開始した。

てんかんとメンタルヘルスについて



千葉県循環器病センター/てんかんセンター
医療法人静和会 浅井病院

お願い・ご注意

このパンフレットはてんかんを抱えて生活する方のメンタルヘルスへの一助となることを願って作成されました。断定的な指針を述べたものではありませんが、お役に立てば幸いです。詳細については個人個人で差があることも多いので、主治医の先生とよくご相談ください。

なお、記載内容の一部または全体の無断引用、転載は固くお断りします。このパンフレットのPDFファイルは千葉県循環器病センターてんかんセンターまたは浅井病院のホームページから無料でダウンロードできますので随時ご利用ください。

1

- 1：てんかんはメンタルヘルスの面でどのような影響があるのでしょうか？
- 2：心理的なストレスがあると発作が起きやすくなりますか？
- 3：心理的（精神的）な原因だけで発作が起きますか？
- 4：発作がいつ起こるか分からないので、不安に感じってしまうのですが・・・
- 5：気分が落ち込むことが増えたのですが、てんかんと関係があるのでしょうか？
- 6：メンタルヘル스에配慮した生活とは？
- 7：ご家族、友人など周りの方への提案

2